

令和4年度 Mine みらいトーク<赤郷地区>

日時:令和4年7月 26 日(火) 18:30~19:40 場所:赤郷公民館 大会議室 参加者 7 名

団体	(一社)ドリームレッド
テーマ	あかまるごうの拡充について 公民館の指定管理について 赤郷夢プランの実現に向けて

要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等
<p>あかまるごうについて、利用日及び利用時間が限られており、通院等での利用に支障をきたす場合がある。運行回数の増加に伴いバス2台体制としたいが、2台使用の場合、1台は14人乗りで中型免許を必要とし、運転手の確保が困難であると考えている。</p> <p>また、現状、利用は無償となっており、心苦しい思いをされている利用者もあり、自立に向けた対策としても料金を徴収することを検討している。</p> <p>そこで、利用日及び利用時間の拡大、10人乗り車両の確保、有償化に向けた支援を要望したい。</p>	<p>運行回数については、スクールバスとしての運航に支障がない範囲で可能な限り増やせるようにしたいと考えています。</p> <p>新たな10人乗りのバスの購入については、スクールバス利用が前提の事業でありますので、現時点では難しいと考えています。</p> <p>なお、有償化の取組については、全面的に市がバックアップしたいと考えております。また、運転手の確保については、免許取得の支援などを検討してまいります。</p>	
<p>今後、ドリームレッドの活動として地域の食材を活用した弁当販売事業を検討している。それに伴い公民館の調理室を弁当づくりの加工所のように使用できればと考えており、現状の市の管理ではこのような使用は困難と考えており、指定管理制度に移行すれば、可能なのではないかと考えている。</p> <p>指定管理者制度の全般的なことや調理室を使用して事業</p>	<p>公民館の指定管理者による管理は全国的にも実績があるところですが、また、調理室を申出のあったような使い方をする事自体は、条件が合えば認められると考えています。</p> <p>調理室の活用について、趣旨はよく理解できましたので、どうすれば、実現可能であるか、持ち帰って今後よく検討いたします。</p>	

<p>を行う事の可否について伺いたい。</p>		
<p>郵便局との包括連携に関する協定では、10項目の住民サービスに関する協定項目が示されているが、協定項目1について、今後の事業展開にも大きく関わるものであるので取り組み状況を教えてほしい。</p>	<p>協定項目の1については、ミネコレクションの物品販売の検討を進めていましたが、管理上の問題で進められていない状況です。今後、協定書の項目1のほか、その他の項目についても、地域の振興を図るため、関係各課と調整し取り組みを進めてまいりたいと考えています。</p>	<p>協定項目1 「地産地消の推進及び特産物・加工品等の振興・販売促進」</p>
<p>赤郷夢プランの実現に向けて、地域課題とその対策推進について、地域と行政が連携していくためのパイプ役として集落支援員が配置されたが、今後、集落支援員が「赤郷夢プラン」実現に向けどう具体的に関わっていくのか。</p>	<p>具体的には、地域の課題解決及び活性化に向けた施策の企画立案及び推進の支援を行っていただくようにしています。これまで、赤郷ええとこ市の事務軽減に向けたICT化などを集落支援員から提案を頂いているところです。</p>	
<p>赤郷地区においては、今後、関係人口を増やしていきたいと考えている。高規格道路が整備されたのはいいことだが、この地域を素通りし、萩へ行かれる人も多いのではないか。 この赤郷地域に足を止めてもらえるよう、高規格道路の看板に秋吉台を示す道路標示ができないか。</p>	<p>道路標識の設置については、可能かどうか調査し、検討してまいります。</p>	
<p>秋吉台が草原100選に選出されているが、選定されるだけで終わってはいけない。そのことを活用して欲しい。</p>	<p>見せ方、アピールが不足していることは、本市の宿題と捉えています。本市の魅力が伝わるように様々な機会を通じて周知に努めてまいりたいと考えています。</p>	